

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2015 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

2. 参加者受付、招集・棄権について

- 各団体に一部ずつ、冊子のプログラムを配布するので、受付(第一コーナー外側のテント・北側)でお渡しします。その時に、領収書の受領を希望する団体には、領収書をお渡しします。
- 招集には、出場の意思を伝える一次コールと、スタート前の二次コールがある。一次コールは招集所(第一コーナー外側のテント・南側)で行い、二次コールは現地(各種目スタート付近)で行う。
- 各種目の一次コール開始、完了および二次コールの開始時間は、それぞれ次表の通りとする。時間になったら、競技者は速やかにスタート位置、競技ピットに移動すること。

競技種目		組	開始	完了	二次コール開始(目安)
トラック	①5000m 以外の 全ての個人種目	1～6	60 分前	30 分前	15 分前
		7～12	45 分前	15 分前	競技開始時刻
		13～18	30 分前	競技開始時刻	15 分後
		19～24	15 分前	15 分後	30 分後
	②5000m、 全てのリレー種目	1、2	60 分前	30 分前	15 分前
		3、4	50 分前	20 分前	5 分前
		5、6	40 分前	10 分前	5 分後
	フィールド	棒高跳以外の全種目		60 分前	40 分前
棒高跳			80 分前	60 分前	

※ 時間はすべて、競技日程に記載された競技開始時刻の定刻を基準とする。

トラックの記載組以降の組のコール時間は①の種目は 6 組毎に 15 分、②の種目は 2 組毎に 10 分ずらして行うものとする。

- リレー競技については、オーダー用紙の提出とは別に一次コールを行うので、上記の時間までに招集所に 4 人揃って招集に来ること。オーダー用紙の配布は招集所にて行っているため、各自適切な時間に取りに来て、一次コールまでに提出すること。
- リレーに 1 団体から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなすので、チーム間での変更・交代は認めない。
- リレーの二次コールは、スタート位置でそれぞれの走者について行うので、出発係に従い、準備をすること。
- 混成種目についての一次招集はトラック種目のみ行う。他の種目は競技開始 30 分前を目安に、競技ピットに集合すること。
- 競技者の棄権は、なるべく早く招集所まで連絡すること。
- 召集完了時間に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。

3. 当日エントリーについて

- 当日エントリーは、混成競技を除くすべての種目について受け付けるが、競技の円滑な進行を妨げるほどに人数が多くなってしまった場合、当日エントリーを途中で締め切ることもある。
- また、第 20 回東大競技会より、1 つの種目について事前エントリー、当日エントリー及び二次エントリーを合わせた数に定員を設けるため、事前エントリーで上限に達した種目については当日エントリーを行わない場合があるので注意すること。
- また、事前にエントリーが無かった種目に関しては削除する可能性があるため、注意すること。
- 当日エントリーの受付は、受付(第一コーナー外側のテント・北側)で行っている。遅くとも、当該種目開始時間の 1 時間前までには行うこと。
- 受付締切後にゼッケン、レーン等を決定するので一次コールの際に必ずそれらを確認すること。

・当日エントリーの出場料は、受付時に支払っていただくことになります。

4. ナンバーカードについて

- ・ナンバーカードは各自準備(男子は白地に黒、女子は赤で作成)し、ユニフォームの胸・背部に明瞭につけること。ただし、走高跳・棒高跳の競技者は胸または背だけでも良い。
- ・ゼッケン番号は、プログラムに記載されている番号である(ホームページ上でのプログラム公開時に判明する)。これは、レーン番号や陸連登録番号とは異なるので注意すること。
- ・安全ピン等も、各自で用意すること。
- ・腰ナンバー標識については、主催者側(競技者係)で配布するものをパンツの右側やや後方につけること。ただし、5000m及び競歩については両側につけることとする。なお、腰ナンバー標識はレース終了後回収する。

5. 競技について

- ・トラック競技における走路順はプログラム記載通り、フィールド競技における試技順はプログラム記載順で行う。
- ・トラック競技の計時はすべて電気計時(1/100 秒)を用いて行う。
- ・トラック競技について、国際陸連により承認された「1 回目のフライングで失格とする」ルールは、今競技会では適用せず、今までの「2 回目以降のスタートでフライングした選手を失格とする」ルールを適用する。
- ・5000m ではフィニッシュはコーンの外側で行うこと。
- ・5000m では、必要に応じてバックストレートに給水所を設置する。給水後のコップについては、他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。
- ・フィールド競技では全員 3 回の試技を行い、ベスト 8 を選び、記録順にさらに 3 回行う。出場選手が 8 人に満たない場合は、出場選手全員 6 回試技にて競技を行う。
- ・走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、別紙「跳躍種目に関する注意事項」の通りとする。
- ・三段跳の踏切板の位置は、当日の条件を考慮して決定する。
- ・混成競技に出場する競技者は、別紙「混成競技に関する注意事項」を一読すること。
- ・また、プログラムに記載されていない投擲種目(女子ハンマー投、ジュニア規格など)に関しては、エントリー前に予め連絡していただければ、競技種目を行うかどうかを検討する。
- ・ただし、ジュニア規格の種目の場合も、ベスト8は一般と合わせて行うものとする。

6. 二次レースについて

- ・二次レース参加希望者は一次レース終了後 30 分以内に受付まで申告すること。
- ・番組編成については、二次レース 30 分前までに受付にて掲示を行うので、掲示後速やかに招集所にて一時招集を済ませること。
- ・二次レースの事前申し込みは出来ないが、当日エントリーは(一次レースに出場していなくても、)可能である。
- ・二次レースの出場料は、受付時に支払っていただくことになります。
- ・また、第 20 回東大競技会より、1 つの種目について事前エントリー、当日エントリー及び二次エントリーを合わせた数に定員を設けるため、事前エントリー及び当日エントリーで上限に達した種目については二次エントリーを行わない場合があるので注意すること。

7. 用器具について

- ・競技に使用する用器具は、すべて主催者側で用意したものを使用すること。但し、棒高跳用ポールについては個人所有のものを使用することができる。やりに関してはご相談ください。場合により、検討いたします。
- ・棒高跳用ポールを送る際の送付先は、下記の通りをお願いします。
〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学駒場キャンパス第一グラウンド
尚、運送会社において長尺物の取り扱いに関する規定が変更されたため、返送に関して大会主催者側は一切の関与をしないのでご了承ください。
- ・貸出できるポールの種類は次表の通りであり、全てスピリッツである。

長さ	硬さ					
13feet	120	145				
14feet	135	140	145	150	155	160
15feet	145	150	155	160	165	
16feet	170	185				

※尚、貸し出したポールを折ってしまった場合には、弁償して頂きますので、ご了承ください。

8. その他

- 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 写真判定の関係上、ゴールライン付近に停まっている車の建物側は常時通行禁止とする。また、選手のフィニッシュが近い時はトラック側についても同様に通行禁止とする。
- 計測機器の故障などにより、タイムの計測が出来なくなった場合は、手動計時(公認)になる場合もある。
- 記録証の発行を希望する際は、受付に申し出ること。
- 駐車場が無い場合、車でのご来場はできません。ご注意ください。
- 競技中の事故などによる身体の故障の場合、応急処置は行うがその後の責任は一切負わない。
- 盗難や紛失について、主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他の物については一切責任を負わない(遺失物等はアナウンスで管理する)。
- その他、不明な点は大会総務まで問い合わせること。

東京大学陸上運動部 渉外主務 荒田彰吾
(携帯電話) 090-2830-3560
(PCMail) uttf.arata@gmail.com
(携帯 Mail) tr.s4405arata@ezweb.ne.jp